

日経平均株価等の構成銘柄の取り扱いについて

日本経済新聞社は、日経平均株価等の構成銘柄である「NTTドコモ（9437）」について、日本電信電話による完全子会社化を目的としたTOB（株式公開買い付け）の結果、将来の上場廃止の可能性が極めて高くなったものと判断し、各指数について以下のとおり取り扱うこととします。

なお、この取り扱いは、本年6月15日より改定した臨時入れ替え基準を適用したものです。

1. 日経平均株価

12月2日の算出から「NTTドコモ」を除外するとともに、銘柄選定ルールに則り、同日から同一セクター（技術セクター）で未採用の高流動性銘柄である「シャープ（6753）」を採用します。シャープのみなし額面は50円。

2. 日経株価指数300

12月2日の算出から「NTTドコモ」を除外し、「飯田グループホールディングス（3291）」を採用します。

3. 日経500種平均株価

12月2日の算出から「NTTドコモ」を除外し、「UTグループ（2146）」を採用します。UTグループの業種はサービス、のみなし額面は50円。

4. 日経平均内需株50指数

12月2日の算出から「NTTドコモ」を除外します。ただし、この時点では銘柄補充を実施せず、次回の定期入れ替え時に50銘柄に戻します。

以上